

リーダーI研修（1年目）

ニーズを捉える力 ケアする力 協働する力 意思決定を支える

自立して標準看護計画に基づいた看護の実践を

根拠に基づいた看護実践

ステージ/月	ステージ1（4月）	ステージ2（5月・6月・7月）	ステージ3（8月・9月・10月）	ステージ4（11月・12月）	ステージ5（1月・2月）	（3月）	
担当	病棟管理者・スタッフ(教育委員・プリプター) 各科専門職	病棟管理者・スタッフ(教育委員・プリプター) 各科専門職	病棟管理者・スタッフ(教育委員・プリプター) 各科専門職	病棟管理者・スタッフ(教育委員・プリプター) 各科専門職	病棟管理者・スタッフ(教育委員・プリプター) 各科専門職		
目標	1病棟の主疾患と専門科を自己学習し理解する 2根拠に基づいた正確な看護技術を実施する 3優先度を考え時間管理ができる 4医療倫理について考える	1患者の看護過程の展開ができる 1)根拠に基づいた看護展開ができる 2)受持ち担当患者の個性のある 3)看護計画を立案・実施・評価の実施ができる 状態変化時・月毎・決められた評価日に見直し 4)患者を取り巻く多職種の援助も関連づけ 看護(計画)を考えることができる 2個性のある・根拠のある看護技術がおこなえる 3患者の状況に応じた(根拠をもって)援助ができる 4救急・急変時の対応の根拠が説明できる ・救急・急変時の対応時、根拠をもった実践できる 5医療接遇について考え実践できる	1医療安全に対して根拠をもった考えができる 1)マニュアルの視点から自身の日々の実践で安全を確保する 2)感染リスクアセスメントができ、看護計画の立案実施ができる 3)ハイリスク薬剤の基本知識をえて薬剤投与時・中・後の観察ができる。(根拠を理解する) 4)多職種とのコミュニケーションがとれ各委員会・ケースカンファレンス・退院支援などに参加し、(根拠を持ち)意見交換ができる 5)看護記録の原則を守る ・事故発生時の看護記録ができる ・救急・急変時の看護記録ができる	1地域ケアシステムの概要を知り、患者の入院から在宅までを知る。 2施設が用いる社会資源について知り活用できる。	1自身の修得不足(知識・技術)な点を振りかえることでき再学習・再技術の訓練を行う事ができる 2次年度にむけて自己課題をみだし自己目標を設定できる		ニーズを捉える力 ケアする力 協働する力 意思決定を支える力
リーダーI研修	個人情報 事務部 渡邊主任 感染看護I 個人防護 4F 天野主任(松原師長) 吸引方法・酸素ボンベの取り扱い 3岩瀬看護師・4F 大瀬看護師 院内食事室について 栄養部 里村士長 職業倫理(倫理綱領) 倫理綱領に基づいて看護を考える 管理室 松原師長 電子カルテ 3F山田師長 3F 大森リーダー 4F 北野看護師 記録マニュアル 3F 大森リーダー BLS 急変時の対応 2F 戸田副主任 大野看護師 3F 福島看護師 石井看護師 リハビリテーション(基礎) リハビリ部 PT OT ST 導尿・留置カテーテル 外来 中尾看護師 2F 黒木看護師 胃管カテーテル挿入と固定方法 4F滝本看護師 2F小倉看護師 4/26 注射方法 2F戸田副主任 2F大野看護師 4F大野看護師 3F近藤看護師 4/26 褥瘡について 「DESIG-R」 3F 大森リーダー	5/24 看護必要度 13~ 山田師長 3F大森リーダー 5月 5/31 医療安全 事例検討 新進戸師長 5月 5/31 輸液・シリンジポンプの取り扱い DC 医療ガス取り扱い 医療安全管理室 山下技士長 5月 6/21 医療接遇 13~ 管理室 松原師長 6月 6/21 薬物の取り扱い 麻薬・薬効・副作用・管理 薬剤部 松本部長 6/21 医療接遇 心電図 検査 6/21 がん化学療法 14~ 風刺部 岡村主任	8/28 認知症ケア 認知症の基礎知識とケア 3F 長田看護師 9/20 DC・AEDの操作手順 医療安全管理室 山下技士長 9/20 感染看護II(賞紋主任) 実践における感染リスクのアセスメント ハイリスクとされるケア 2F 賞紋主任 9/20 管理を必要とする薬剤 麻薬・薬効・副作用・管理 薬剤部 松本部長	11/15 災害看護 14~ 災害マニュアルについて 管理室 松原師長 11/15 整形外科疾患・看護 14:30~ 管理室 松原師長 12/13 福祉・介護 14~ 介護保険制度について・入院時の連携 ケアマネジャーの業務(事例を通して) 福祉 ケアマネジャー 守田主任 12/13 地域包括システム14:30~ 地域医療相談室 森室長	1/24 OP前・中・後の看護 13:30~ 東看護師(管理室 松原師長) 1月 1/24 看取り 14:30~ ターミナルケア・看取りに関するガイドライン 福祉部 岡村主任 1月 1/24 放射線 14~ 放射線科 高木副技師長		根拠に基づいた 看護実践 自己課題を みだし自己目標 を設定できる 学びの会 教育委員会評価 病棟との評価会
病棟教育	病棟研修:教育委員・プリセプター 下記研修内容評価 環境整備・看護ケア 注射法訓練 各委員会(1回/月)の見学参加は必須	病棟研修:教育委員・プリセプター 下記研修内容評価 摂食機能訓練 実践開始 ケースカンファレンス・退院支援など 見学参加 転棟・転入・退院見学実践 BLS研修:5月・6月 教育委員・スタッフによる技術テスト7月19日 14:30~15:30 感染・褥瘡・給食・NST委員会	病棟研修:教育委員・プリセプター 下記研修内容評価 OP前後の看護(整形外科・耳鼻科・眼科) BLS研修:8月・9月 教育委員・スタッフによる技術テスト10月18日 14:30~15:30 評価・指導	病棟研修:教育委員・プリセプター 下記研修内容評価 BLS研修:11月12月 評価・指導	病棟研修:教育委員・プリセプター 下記研修内容評価 BLS 教育委員・スタッフによる技術テスト2月21日 14:30~15:30		
		・看護展開(受持ち担当患者) 看護計画の立案の見直し 計画の実施 期限内の評価 エンゼルケアの見学と実践	・看護展開(受持ち担当患者) 看護計画の立案の見直し 計画の実施 期限内の評価 リフレクション	・看護展開(受持ち担当患者) 看護計画の立案の見直し 計画の実施 期限内の評価 リフレクション	・看護展開(受持ち担当患者) 看護計画の立案の見直し 計画の実施 期限内の評価 看護記録の評価		
Dr研修	2023年度Dr研修参加:必須 ・Dr研修VTR視聴:必須 Dr上野 「高齢者の発熱」 Dr土井 糖尿病患者の看護 Dr浜崎 予兆をとらえて急変を防ぐ	2024年度Dr研修参加:必須 ・Dr研修VTR視聴 Dr上野 「高齢者の発熱」 Dr土井 糖尿病患者の看護 Dr奥野 術後の観察ポイント	2025年度Dr研修参加:必須 ・Dr研修VTR視聴 Dr横山 「鼻疾患及び鼻内視鏡手術」 「咽喉・喉頭・気管」 Dr戒田 「白内障手術」 Dr野上雅 「大腿骨頸部・転子部骨折」	2026年度Dr研修参加:必須 ・Dr研修VTR視聴 Dr横山 「鼻疾患及び鼻内視鏡手術」 「咽喉・喉頭・気管」 Dr戒田 「白内障手術」 Dr野上雅 「整形外科手術後感染」	2027年度Dr研修参加:必須 ・Dr研修VTR視聴 Dr横山 「難聴・めまい」 Dr野上雅 「整形外科手術後感染」		